

# 健康課の目標（平成19年度）

健康課長 渡辺 いよ子

## 1 課の役割

健康課は、地域保健班、予防衛生班、高齢者健康づくり班で構成され、主な業務は母子保健事業、予防接種、保健指導、各種健診、健康づくり事業、介護予防事業など、町民生活に直結する事業を行います。

健康なまち酒々井の実現に向け、乳幼児から高齢者まで、生涯を通じて健康を保ちながら、いきいきと暮らせるよう保健センターを拠点に健康づくりの輪を町全体に広げていく役割を担っています。

## 2 個別事業とその目標

### 1 母子保健事業の推進（地域保健班）

妊娠届出時、「親子すこやかガイド」に基づき母子保健事業の説明を行っています。

乳児相談、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時に疾病等の早期発見を行うとともに母親の育児不安やしつけ面についての相談を行います。また、健康診査の事後指導教室や親子相談を開催し、心理発達相談員による面接を行い児の発達援助を行います。

健康推進員による「こんにちは赤ちゃん事業」を推進するとともに、乳児相談、健康診査の未受診者の全数把握を行い、虐待の早期発見・予防に努めています。

#### 【今年度の新たな取組】

こんにちは赤ちゃん事業では、4か月の乳児190件の対象に対し、169件の乳児宅を訪問しました。

### 2 栄養改善事業の推進（地域保健班）

健康推進員と協働し、子どもヘルシー教室・健康教室・はつらつ健康教室・ヘルスサポーターの養成等の事業を通して食育、健康づくりの意識の向上に努めています。

### 3 医療体制の確保（地域保健班）

初期救急医療として、印旛市郡小児初期急病診療所、成田市急病診療所の運営を行っています。

### 4 老人保健事業の推進（予防衛生班）

生活習慣病を中心に疾病の早期発見、早期治療を推進するため、基本健康診査、各種がん検診、健康教育、健康相談を開催します。基本健康診査の結果に基づき、各種健康教室等の参加の勧めを行い、生活指導、栄養指導に努めています。

5 予防接種事業の推進（予防衛生班）

感染症の流行を抑制するため、予防接種の接種率向上を図っています。

乳児相談、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、就学時健康診査時などに接種歴の確認を行い、受診勧奨を行います。また出生届出時に接種の受け方などについて分かりやすく説明を行っています。また、65歳以上の方を対象にした高齢者インフルエンザ予防接種については、個別通知で周知しPRしています。

6 機能訓練事業の推進（予防衛生班）

障害のある方を対象に日常生活の質の向上と機能維持、閉じこもり予防を目的に機能訓練事業を実施しています。

【今年度の新たな取組】

機能訓練参加者でつくる「すみれ会」の会員と、子育て中の母親、乳幼児と一緒に「ひなまつり会」を行い、異世代との交流の中で楽しい機会を持ちました。

7 健康づくり事業の推進（高齢者健康づくり推進班）

健康ビジョンの推進を図るとともに、順天堂大学と連携し、ボディマネジメントスクールなどの健康づくり施策を展開し、町民の健康維持増進に努めています。

また、町民による健康に関するネットワークづくりを支援します。

【今年度の新たな取組】

健康ビジョンの推進を図る中で、サークル等住民活動で開催された健康創造大学の運営を支援しました。

8 介護予防事業の推進（高齢者健康づくり推進班）

高齢者が要介護状態又は、要支援状態とならないように各種の介護予防事業を展開していきます。

介護予防教室

生活機能の低下がみられる方（特定高齢者）を対象に、状態に応じ運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上プログラムを提供します。

【今年度の新たな取組】

チャレンジ教室

地域で介護予防が図れる様、地域の集会所などを活用した介護予防事業を展開し、その集会所などを拠点に介護予防に関する住民活動の促進を目標としています。

内容については介護保険や栄養・口腔に関する講義、チャレンジ体操のほか、自治会等と協議しながら決定します。

【実施状況】

ふじき野会館：全10回で開催。体操を継続するためのサークルが誕生。

上本佐倉1丁目：全7回で実施中